

令和8年度神奈川県肉豚共進会が開催されました

(一社)神奈川県養豚協会が主催する令和8年度 神奈川県肉豚共進会が、横浜中央卸売市場食肉市場で開催され、5月13日(水)に生体の部、5月15日(金)に枝肉の部の審査が行われました。

畜産技術センターからは、所長が審査長、普及指導課職員が審査員として参加し、その他各関係機関とともに共進会の運営に協力しました。

共進会には去勢・雌を1組として100組 200頭が出品されました。生体の部、枝肉の部でそれぞれ審査・採点し、去勢・雌の総合成績により順位を決定しました。

生体の部では、発育不良及び関節炎で2頭が低評価になってしまいましたが、それ以外の出品豚は体型の揃った健康な肉豚で高評価となりました。

枝肉の部では、最上位である極上に21頭(去勢10頭、雌11頭)が格付され、昨年度の記録を更新する最もレベルの高い共進会となりました。中でも名誉賞第1席に選ばれた枝肉は、去勢においては肉色が良く、モモ、肋間にサシが散見される等、特に肉質に優れており、雌においては肉量に富み、腿の張りや赤肉と脂肪のバランスが良く体形的に優れた枝肉でした。去勢と雌の総合成績で名誉賞1席を受賞した経営体は8大会連続での受賞となり、種豚・肉豚選抜の的確さ、飼養管理技術の高さ等、日頃の研さんの成果がうかがえました。

枝肉の部には多くの生産者が来場し、上場された枝肉の状況や買参人に好まれる枝肉について、参加者相互の活発な意見交換が行われました。その後のセリで、名誉賞の枝肉が去勢4,400円/kg、雌5,294円/kgの高値で競り落とされると大歓声があがり、盛況のうちに共進会は終了しました。

畜産技術センターは、今後とも出品された豚の体型や枝肉の形状の評価をふまえ、各農場の豚肉生産技術向上の支援に努めていきます。



生体の部



枝肉の部

名誉賞第1席を受賞した枝肉(左:去勢、右:雌)